令和２年６月１日発行

# 進路室だより　文理選択 学校特徴 編

**今回は２本立て**
**・文理選択について**
**・大学、短大、専門学校の特徴について**

## 『将来、〇〇をしたい』⇒『文理選択』

①→②→③の順で考えていこう！

① 将来、〇〇という職で働きたい
② ①に向けて□□で△△を学びたいなぁ（大学・短大・専門学校）
③ ②に進学するためには、◇◇が必要だ!!（入試科目など）

※「**国語や英語が苦手だから．．．**」、「**数学がいやだから．．．**」といった**安易な考えで文理選択**すると、いざ自分が進みたい分野が決まったときに必要な科目を履修していないことになり、**受験できない**ということになります。
大事なのは
「**将来どのような道に進みたいのかを考えた上で文理選択をする**」ということ。

ここからは大学・短期大学・専門学校の特徴を**看護師**を例に挙げて説明します。

＊ 大学（4年）or 短期大学（3年）or 専門学校（ほとんどが3年） を卒業後 **国家試験を合格して**看護師になる

## Ｉ．大学と専門学校の特徴

| 大学（4年） | 専門学校（ほとんどが3年） |
|---|---|
| **保健師や助産師の受験資格も取得可能**（選択制） | **最短で看護師の資格を取って働くことが可能** |
| 看護について**より高度な教育**を受けられる | 看護師として働くための**より実践的な力を身につける** |
| 幅広く教養も学び、**大学卒の肩書き**（学士）を得る | 認定看護師を目指すこともできる |
| **大学院への進学**が可能 | **保健師や助産師の受験資格を得るためには、**保健師養成施設や助産師養成施設で、**さらに１年間学ぶ必要がある** |
| お金がかかるが… | 学費は学校によって様々 |

**私立大：初年度１９０万円**
**（入学金30万円を含む）**
**国立大：初年度82万円**
**（入学金28万円を含む）**
**＊給付型奨学金の登場で、家計の負担を大幅に減らせる可能性あり**

**多くの学校は１２０万円前後だが、公立は安い傾向にある**

※ ４年制大学（看護医療系養成）が増えつつある
➥ 急速な高齢化と看護の知識・技術の高度化が背景。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 大学 ……… | 127校（05年） | → | 約255校（17年） |
| 短大 ……… | 31校（05年） | → | 約 18校（17年） |
| 専門学校 … | 267校（05年） | → | 約379校（17年） |

（アゼストアカデミーより抜粋）

## Ⅱ. 受験校の考え方

● 一般的に言えること

- 受験校が早く決定できていて、その学校が推薦入試を実施しているなら、**推薦入試も視野に。**

  ただし、①難易度の低い学校を推薦で受験する必要は無い
  ②国公立大学の場合、推薦の準備に約1か月程度の時間を割くことになる

- 一般入試は1期、2期と複数回実施される学校も多いが、多くは**遅い時期の入試ほど定員は少ない。**
- **専門学校で、合格しやすい学校ほど授業料が高いことが多い。**ただし、そのような学校の中には学力に合った丁寧な指導をして国家試験の合格へ導いてくれるところもある。
- 出願期間、入試日、合格発表日、手続締切日、難易度、(推薦なら専願か併願か)などを**複数の学校について調べて受験計画を立てる。**
- 大学・短大ならば模試のデータを参考にできる。

● 受験科目について

**◎理科**　基礎科目 or 専門科目。生物や化学
入試科目になくても**入学後すごく必要**

〇英語　**様々な国籍の患者さんに対応するため**

〇国語　**正確な読み取り**が必要

● 県内の学校の様子

＊ **鳥取看護大学** ………… 地元の大学として頑張っている。大学院も設置。

＊ **米子医療センター** …… 推薦入試あり(ただし専願:出願9月中)
一般入試の難易度は比較的高い

● 奨学金(詳細は別途)

＊ 日本学生支援機構 …………… 返還の義務あり(給与制度もある(基準あり))

＊ 鳥取県看護職員修学資金 …… 月額 36,000 円
県内の病院に5年以上勤務したら返済免除あり

＊ 各病院が設定する奨学金もある